

ワークショップの進め方について

1 目的

次期総合計画の策定に向けて、本市の「魅力と課題」について整理し、ワークショップを通して委員のアイデア等をとりまとめていく。

2 内容

(1) 班編成

6～7人による6つの班に分かれ、「ひと」「もの」「まち」の大まかなテーマに沿った意見の交換、集約について、2回形式で実施する。

(2) テーマの内容

ア 「ひと」とは

地域づくりや教育、スポーツ、産業など、さまざまな分野に携わる「ひと・人材」に焦点を当て、意見交換を行う。

イ 「もの」とは

農林水産業や工業、商業における商品・製品等の生産・販売のほか、医療・福祉サービスの提供など、「産業・経済」に焦点を当て、意見交換を行う。

ウ 「まち」とは

観光や交通体系、道路網、施設などの「公共インフラ」や、豊かな山・川・海などの「資源」も含めた都市基盤に焦点を当て、意見交換を行う。

(3) 進め方

ア 1回目の本会では、「ひと」「もの」「まち」のテーマにおける「魅力と課題」について話し合い、「魅力を活かしてできること」、「課題を克服するために成すべきこと」について意見交換を行い、各班ごとに発表する。

イ 2回目となる次のワークショップ（11月中旬に開催予定）では、これまでに整理した本市の「魅力と課題」を元に、本市の目指すべき理想の姿について意見交換を行い、各班ごとに発表する。

ウ ワークショップにおいて整理された内容については、分野別に施策を整理する際に、改めて分科会等において施策の具現化を検討し、次期総合計画に反映する。

3 ワークショップのテーマ

(1) 令和2年10月6日（火）開催 ※ワークショップ1回目

「まちの魅力と課題を整理しよう～これからのまちづくりに向けて～」

(2) 令和2年11月12日（木）開催予定 ※ワークショップ2回目

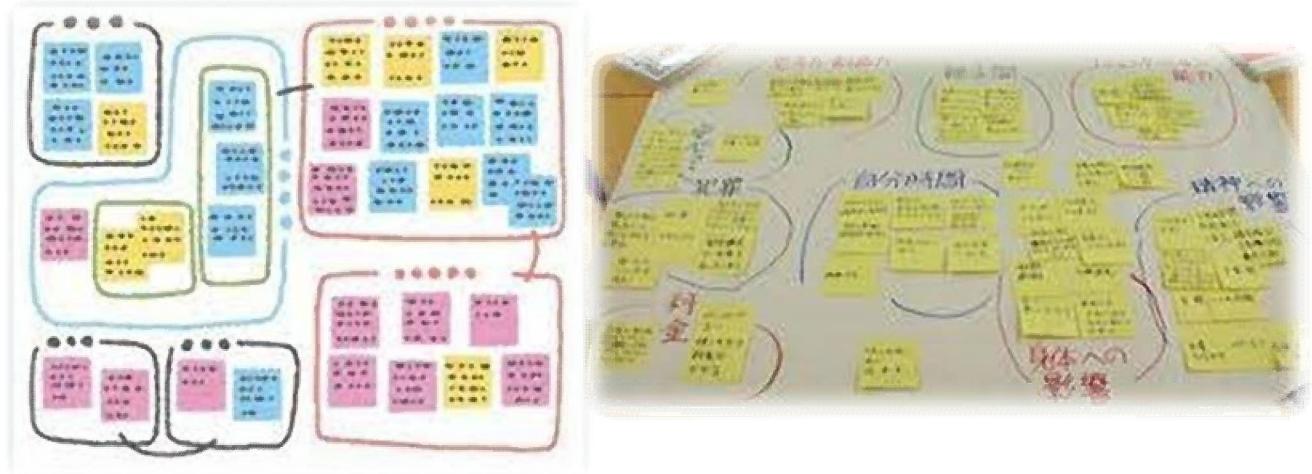
（仮題）「光市が目指す理想の姿とは～未来の我がまちをデザインしよう～」

4 ワークショップの手法

K J 法において実施

【K J 法とは】参加者各自の意見をカードに記入し、分類しながら模造紙に貼っていく。同様の意見や重要な意見はそれぞれに整理しながら、意見の集約化・体系付けを行っていく手法。

〈イメージ〉



5 会場の配置

新型コロナウイルス対策も含め、6つのグループ（6～7名）を、ある程度間隔をとった配置とする。※資料2参照

第2回 まちづくり市民協議会 まちづくりワークショップ (令和2年10月6日(火))

ワークショップのテーマ ・まちの魅力と課題の抽出とその集約

18:45

◆ワークショップの進め方について 説明

①オリエンテーション

- ・グループごとに自己紹介
- ・アイスブレイク
- ・グループリーダーの選出

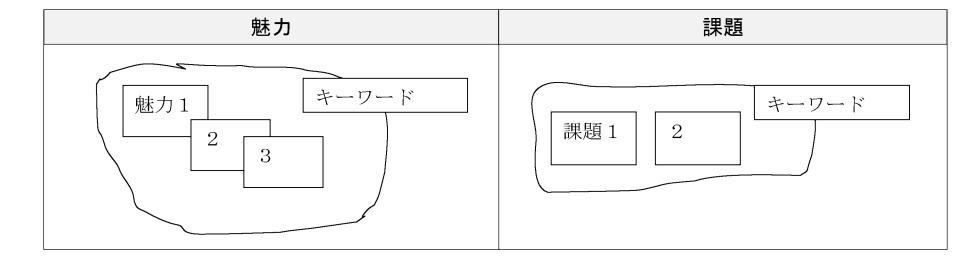
②各グループで、光市の「魅力と課題」について話し合ってみましょう。

- ・関連する分野に主眼を置きながら、幅広い視点から「魅力と課題」について、リーダーの司会・進行で話し合ってみましょう。
- ・そのためにまず、自分の意見を直接、2行程度の言葉にして、カードに書き込んでみましょう。
- ・各自の意見を述べたうえで模造紙にカードを張り付けます。

③各項目をひとかたまりにして短い言葉やキーワードにしていきましょう。

- ・張り付けたカードを、模造紙上でリーダーを中心に同じ言葉やキーワードでくれるものを集めて、ひとかたまりにしましょう。
- ・記入事例を参考に、ひとかたまりごとに共通する言葉や短い文章を参加者全員で考え、かたまりを囲み、その言葉などを書き込みましょう。

【●●●グループ】



④グループで意見を交換していきましょう

- ・「魅力と課題」が整理できたら、「魅力を活かしてできること」「課題を克服するために成すべきこと」について、意見を交わしてみましょう。

⑤他のグループに行って自由に意見を交換しましょう

- ・自由に他のテーブルに移動します。その際テーブルには、グループリーダーだけが残り、他のメンバーは他のテーブルに移動しましょう。
- ・それぞれのテーブルに残ったリーダーは、新しいメンバーを迎えて簡単な自己紹介をした後、そのテーブルで話し合われた内容を説明し、その後同じテーマについて話し合いを続けましょう。

⑥検討結果の発表をします

- ・グループリーダーにより、今回の成果を2~3分ずつで説明しましょう。

⑦次回の説明等

- ・コンサルタントより、次回の作業等について説明します

⑧事務局あいさつ

18:50

19:30

19:40

20:00